

て鞭を投じて飛渡すべき位置にある我邦人も亦此半島との來往頻々にして恰も連土比隣の觀をなして我大和種族の血統を移植したることも決して少なからざりし當時半島南部に二個の優勢なる邦國ありき今の慶尙道の東半を領有し慶州府を以て首府せるを新羅國とし又慶尙道の南部に割據して洛東江口の金海府を以て首府せるを加羅國とす此兩國は最も我國と親密なる關係を有したり新羅國は我大和種を骨子として組み立たる邦國にして建國以來頻りに隆興して版圖を擴張し遂に半島の大半を占有するに至れり當時新羅と日本との連絡線は迎日灣より鬱陵島(松島)を目標とし隱岐を望みて出雲の松江灣に至りしものなりと云ふ他の一たる加羅國も亦我出雲派の殖民地にして其移民によりて建てられたる邦國なり加羅と日本との連絡線は洛東江口より津島(對島)に寄港し山陰道の西端に至りしものなりと云ふ又神功皇后の半島南部を征服し給ふや任那に日本府を設置し統治せられたるを以て當時本邦人の來往頗る繁かりしは勿論のことなりし其の他倭寇は絶へず半島沿岸を侵し其間に殖民移住したることも亦必ず尠少なからざるべし

觀來れば半島の土地は四圍の優勢なる各種族の競争殖民地にして其間に國を

建て政府を置き或は稱して國家と云ひ或は獨立と唱ふるも是れ一時の現象たるに過ぎず到底永久に保持する力なきは移民の根性の然らしむる處亦是非もなき次第と謂ふべし然るに獨り怪むは斯の如く先天的に獨立自主の力薄弱なる土地にして古來能く強國の併呑より免れ否數々併呑せられたれども其占有權は幾くもなく之を放棄するの止むを得ざらしめ半島をして辛くも一種特別の地歩を保持せしめしものは如何の疑問なり是れ必ず半島自然の形勢の然らしむる所に歸せざるを得ざるべし抑朝鮮は既に半島地にして第一著に比隣紛争の煩より卓立すべき優勝の地を占む加ふるに半島と大陸との分界線には長白山脈の雄壯なる天然の障壁ありて北來の強壓に對する深溝の觀をなせり是れ數侵入せる北來の勢力が輒もすれば其母國との連絡中斷せられて永久占領の目的を達すること能はざりし所以ならん又半島の南方を顧みれば海峽を以て隔てられ南來の勢力は之によりて防害せられ古來極東の英雄をして隔海難の歎聲を發せしめしことも一再にして止まらざりき然るに古人の勇敢なる一帆の船舶によりて尙ほ且つ屢半島を捲席せしを追想すれば汽船あり艦艇ある時代に於ては一帯帶水の隔海亦何の困難をも感せざるべし英國民が絶海萬里

時令全く相反する南洋濠洲に殖民し或は南阿に立憲政治を敷き印度に帝國の分體を置くを想へば十八湮の一海峡は裳を掲げて飛渡すべき一溝渠たるのみ希くは我國民を以て殖民移住に權能なき一隱退民として嗤笑せしむる勿れ且つや半島は土地の受動的なるのみならず其先住民も又受動的なり彼等自身が既に殖民たり移民たるが故に何國の人民が此土に占居し移住するをも深く彼等の關する所にあらず凡そ殖民の難は其原住民が地方的感情深く外來人を排斥するを以て最も困難とす特に愛國思想に富み國家的感念強き國民の群間に入りて殖民安居することは殆んど不可能の事たり然るに韓民は如上の感念は薄弱にして酷言すれば或は皆無と稱すべし其氣質は溫和優柔にして寧ろ從順に過ぎ喜んで人の用を濟すの風あり加ふるに生活の程度は頗る低く低廉の賃錢を以て勞働苦楚に堪ゆるの力は却て我邦人に過ぐ若し能く之を駕御統帥すれば能く我手足となりて用を爲す甚だ經濟なる人民なり

殖民地として顧慮すべき一要素は其地の人口密度なり假令へ殖民地として多くの好條件を供備する土地も人口既に稠密なる時は其價值頗る減殺せらるゝを免れず朝鮮半島の住民に就ては其精確なる數を得難しと雖も稍信憑すべき

調査によれば全國の人口一千五十三萬男五百三十一萬女五百二十二萬と云ふ又韓政府光武六年度(明治卅五年)の調査に據れば五百六十萬八千餘なりと云ふ前者と後者とは甚しき徑庭あれども今假に多きに從ひ一千五十三萬とするも面積一萬三千四百里を有する土地なれば一方里に對する人口の平均密度は七百八十六人を容る、割合なり之を我國の一方里平均一千七百六十五人に比すれば尙ほ半ばに及ばず今假に半島人口をして我國と同等の密度に至らしめんには尙一千三百餘萬の人口を收容するに足るべし即ち日本現今の人口増殖率の約三十箇年間の人を收容するに足るべし若し又一步を進めて半島の人口をして我東海道の如き密度に至らしむるには尙ほ四千二十萬の人口を收容し得べし即ち我が今日の増加人口約一百分を支ふるに足る割合なり

次に殖民地としての價值は天然の壓迫如何にあり而して天然力中最も殖民に親密の關係なるは氣候風土なり氣候惡性にして其風土他邦人の殖民に適せず疫癘流行するが如き土地は勇敢なる移民も天然には適し得ず看す看す放棄するの止むを得ざるに至るべし例へば西アフリカに於ける英國皇領殖民地たるシエラレオネの如し氣候不健康にして「白人の墳墓」と異稱せられ殖民に堪能な

る流石の英人も殆ど拱手の有様なり

然るに朝鮮半島は其位置殆ど我國と同緯度なり南端は北緯三十四度にして略、我佐世保と緯度を同ふし北端は北緯四十三度にして我札幌と同緯度なり即ち朝鮮は我九州北部より北海道南部に至るべき主要部を占有するを以て略ぼ我が國と同氣候を享有し地球上最も重要な位置を占めたり若し何國の人も朝鮮の氣候に對して苦情あらば所謂蹶天踏地廣き大世界にも五尺の身を措くに所なき者にして沙汰の限りと謂はざるべからず或は朝鮮の氣候は寒暑酷烈など、言へども是れ比較的にして氣候上寸毫の遺憾なき地球上の最優地而かも地球上の最小部分の好氣候に比すれば多少懸隔あるべしと雖も是れを酷烈と云ふは天恵の厚澤に狎れたる贅澤なり既に温帶圏中にありて四季の循環ありて春花秋月の快を享くる地は夏に至れば幾分か暑からざるを得ず冬は又多少寒からざるを得ず是れ自然の約束なり而かも朝鮮は夏暑と雖も熱帶の酷暑に及ばざること遠く冬寒亦寒帶の冽寒に若かざること遠し觀よ北地氷雪の裏に寒氣と苦闘しつゝある國民は現に朝鮮を羨望して止まざるにあらずや朝鮮の氣候は實に世界最優地の一なり

殖民地の資格に於て最も重要なるは其土地の生産力如何なり元來殖民移住の目的は土地富源の開拓にあるを以て其土地にして本來天然の生産力に乏しき時は殖民の目的は達し得べからざるものと謂ふべし先天的に殖民の權能ありと稱せられ又自任する英國國民は獨逸國民が南西アフリカのダマラランド及ナマグアランドに殖民地を開始するを見て其無謀を冷笑して曰く獨逸が人の移住を誘引するの元資なき此地方を占領したるは一大失敗なることは近時の獨逸國會の討論之を證して餘りあり曰く一の道路をも有せず一の小徑さへ有せず又一の石炭をも有せず一の産業をも有せざる斯る地方を占領したるは是れ實に不適當なる目的に向つて不適當なる手段を用ひて何等の結果なき經驗を買ひたるものなりと是れ實に天然の生産力に乏しき土地に殖民を企てたる失敗史の著しきものなり

朝鮮半島の地體は多く古代の水成岩及び結晶岩等を以て其大體を構造せられ水蝕に抵抗する度強きを以て霉爛的土壤地域狭く地表は到る處波浪狀の邱陵充斥し平地の乏しきを以て農耕地域廣からず然れども其土壤は決して農耕上瘠薄にあらず故に平地の存する所は農産物頗る豊なり又國內には大河乏しか

らざれども韓民は河道の修理を怠り堤防は破壊して河水の氾濫に任せ毫も既灌の法を講せず自然の儘に放置するを以て河水は農耕上充分の用をなさず且つ山林は荒廢して水源涵養の途絶へ又用水の設けなく溜池の供へなし故に數數旱魃の患あり是を以て若し河水自然の灌漑に利ある所は農産物頗る豊富なり例へば全羅慶尙兩道には大澤の設けあるを以て現今農産の豊なるは此地方なり加ふるに韓民は有利なる肥料(屎尿)を田畝に施すことを知らず現に厩に使用する肥料は廐肥青草塵芥糲穀類を撒布するに過ぎず若し日本の耕作法を輸入して農業の法を改良一新し更に水利灌漑の便を開き進んで荒蕪を開耕し未耕地を拓耕するに於ては著しき農産物の收穫高を増加し囂強の農業國となるは疑ふ所にあらず

韓國現時の農業は如上の状態なるを以て耕地反別は平原國の如く廣大ならず韓國度支部の統計に據れば田地の總反別は九十八萬二千結(結は一定せざれども平均約我九反一畝餘にあたる)なりと云ふ故に略我八十九萬三千町歩内外なるべし之を我が田地總反別二百七十六萬町歩に比すれば約三分の一なり而して此の一町歩に對する收穫高は我が一町歩平均十三石の收穫高に比すれば頗

る寡額なり若し我國と同等の收穫高あらしめば今日の田積のみにてても年々一億五千萬圓に値する米の收納を見るべし次に畝地韓人の所謂旱田の總反別は一百九十萬結と稱すれば凡我百七十三萬町歩なるべし畝地は田地に比すれば頗る大なり之れ灌水法を等閑にする一證なり之を我一畝地の總反別二百三十一萬町歩に比すれば彼に優ること厩々のみ但し之を彼我國土の廣袤人口の多寡等より打算すれば朝鮮の畝地は却て遙に我畝地よりも廣き結果を得べし以て半島の農耕上劣等ならざるを知るべし此等の田畝より收穫する農産物は果して幾許に上るべきや統計の示すものなきを以て今輸出品となりて本邦に輸入したる明治三十四年度の重なる農産物價格を示せば左の如し

米 六〇〇九、六四一

小麥 四三、八七六

豆類 二五、一五八、八八七

即ち合計八百五十萬圓なり是れ悉く我國が三十四年度に韓國より仰げる米、麥、豆三穀の價格なり此外朝鮮には麻、烟草、繻、蔬菜等の有利なる農産物に適應するあり朝鮮の農耕は前途甚だ有望なりと云ふべく特に我國の如き農業國民が此

の如き有望なる農耕地に殖民移住するは其成功疑ひなき所なり
次に産業上最も留意すべきは鑛物埋藏の貧富如何なり現今の如く採鑛冶金の
法進歩し所謂山を鑛るの業容易となり其金屬は多方多様に變形して文明の進
運を推轉する唯一の用具たるの時に當りては埋鑛の如何は最も土地の價値に
關することは更に言ふを俟たざる所なり朝鮮の埋鑛に對する事實は近來朝鮮
の地質踏査の進むに隨ひ次第に明なるに至れり朝鮮の地質は前に言へるが如
く古代の水成岩及結晶質岩に富むを以て此間に胚胎せる黃金鑛には著しく富
み全半島到る所に金脈ありて其數百六十鑛に及べり詳細は前に示せる朝鮮鑛
物分布圖を參看すべし中にも咸鏡平安兩道は最も多く花崗岩及片麻岩中の石
英脈又は之を被ふカムプリア系に埋藏すれども今日は只僅に砂金となりて河
床等に流出するに過ぎず然れども砂金も大粒は往々數十斤に達するものあり
現今著名の金鑛は咸鏡道の永興端川平安道の雲山般山慶尙道の昌原忠清道の
稷山黃海道の柴里院江原道の金城等なり次に鐵鑛は頗る多く所々より産出す
從來著名なるは平安道の价川龜城咸鏡道の北青文川慶尙道の慶州江原道の洪
川黃海道の鐵峴般栗瑞興京畿道の江華島等なり銅鑛は我國の如く豊富ならず

今咸鏡道の甲山端川江界等名あり銀鑛も我邦に比すれば頗る貧なれども全國
に十五銀鑛を有す其他鉛水銀滿俺安質母尼錫等の諸金屬より水昌硫黃の諸鑛
あり特に世界に稀なる白金鑛は江原道の西境に近き春川府附近に有り終りに
最も必要なる石炭は朝鮮には頗る乏しきが如し大同江及清川江畔吉州咸鏡慶
州等に埋藏すれども其質不良なり尙ほ各道に就き主要なる鑛山を擧ぐれば左
の如し

- 京畿道 安城(金)通津(金)砥平(金)楊根(金)江華島(鐵)
- 忠清道 稷山(金)清州(金)忠州(金)文義(金)公州(金)青州(金)報恩(金)永洞(金)黃洞(金)銀山(金)
- 保寧(金)
- 全羅道 金溝(金)南原(金)全州(金)鐵山(金)光州(金)寶城(金)靈岩(金)茂山(金)稱山(金)
- 慶尙道 青松(金)義城(金)星州(金)慶州(金)昌原(金)晉州(金)蔚山(金)遂田(鐵)岩(金)九龍山(銅)
- 八龍山(銅)慶州(鐵)慶州(石炭)
- 平安道 平壤(金)順安(金)宣州(金)義州(金)厚昌(金)价川(金)寧邊(金)般山(金)雲山(金)泰川(金)
- 昌城(金)安州(金)慈城(金)江東(金)館院(金)銅店(鐵)成川(鐵)順安(鐵)朔州(鐵)价州(鐵)龜城(鐵)
- 厚昌(鐵)平壤(無煙炭)般山(無煙炭)江西(炭酸水)雲山(炭酸水)

黃海道 松禾(金)長淵(金)遂安(金)載寧(金)柴里院(金)洪川(鐵)殷栗(鐵)瑞興(鐵)
 咸鏡道 富寧(金)端川(金)長津(金)甲山(金)永興(金)吉州(金)定平(金)明川(金)山水(金)文川(鐵)
 北青(鐵)甲山(銅)端川(銅)江界(銅)吉州(石炭)
 江原道 春川(金)三陟(金)金城(金)洪川(金)麟蹄(金)原州(金)橫城(金)淮陽(金)平康(金)春川(白
 金)

以上農産、鑛産の外、韓國に於て將來有利なる産業は水産なり、朝鮮半島は三面内海を環らす沿海には水族實に豊富なり、特に日本海の漁業の有利なるは夙に世人の認むる所なり、然れども韓人は船材の缺乏せる爲め漁法の拙劣なる爲め等によりて水産の利は殆んど擧げて他邦人の手に委すると言ふも誣言にあらず、而かも尙ほ朝鮮人口の四分の一は漁業によりて生活すと云ふ。専ら朝鮮沿海の漁業に従事するは勿論日本漁民にして日本漁夫の韓海に船を浮ぶるもの無慮一萬人以上に達すと云ふ而して其有利なる時は一ヶ月の漁利二百萬圓に上る之れが爲め朝鮮通漁組合なるものありて釜山に本部を置き各地に其支部あり、該組合には日本政府より補助金を下附し毎月幾回巡羅船を出して本邦漁民の幅濶する漁場を廻航せしめて漁民の監督保護をなさしむるの

組織あり、其外獨立漁業に従事するもの尠なからず、將來韓海の漁業より年額一、千萬圓を得るは難からずと云ふ。此の外韓海に於ける捕鯨の有利なるは著名なる事實にして、又將來益發達すべき有望の事業たり、現今専ら韓海捕鯨に従事するは日本遠洋漁業株式會社及長崎ホームリンガー商會なり、而して又創立久しき露國太平洋捕鯨會社の三あり、明治三十四年に於ける業務成績は日本遠洋漁業會社、本社は山口縣大津郡仙崎村は使用船十一隻、登簿四百噸にして捕鯨頭數四十二價額六萬七千圓を得たり、ホームリンガー商會(本社は長崎)は英露人の組合事業にして船五隻六百噸にして捕獲頭數三十四頭、價格四萬一千圓を得たり、露國太平洋捕鯨會社(本社長崎)は船七隻五百噸にして捕獲頭數百十四、價格十三萬七千圓を得たり、韓海に鯨族の豊なるは決して之れに止まらず、將來適當に捕鯨に従事せば其利或は計るべからざるものあらん。牧畜の朝鮮國土に適應するは自然の然らしむる所にして、滿土の牧草は頗る畜類の繁殖に適すと云ふ、故に朝鮮には古來牧畜は比較的に行はれ、畜類の頭數は尠なからず、古より肉食國にして牛、馬、豕、山羊、犬等は主要なる彼等の食物なり、然

れども韓國の事なれば別に牧畜と稱し得べき業務なく只自然の繁殖に委する儘なれども尙ほ且つ年々各港より輸出する牛尠なからず即ち明治三十四年に於ては生牛約七千頭價格貳拾貳萬圓牛皮百二十萬斤價格三十萬圓牛骨三千圓あり貧乏なる肉食國にして牛の輸出額五十餘萬圓に及ぶ之をして適當なる方法によりて牧畜せしめば其利亦決して輕視すべからざるものあらん凡そ此等の事を數へ來れば遺利富源決して乏しからず韓半島は經世者の決して等閑に附する處にあらず願みれば神功皇后以來國民の韓地經營は殆んど全く絶へ半島をして今日の如き荒廢無力に陥らしめしものは我邦人の負へる天職に孤負せる罪過なしと云ふべからず日本人は好戰國民にして戰鬪のみ成功する國民なりと言はしむべからず軍隊の後方には殖民積かざるべからず軍旗の下には移民伴はざるべからず而して環視の列國をして日本人は破壊に長じて經營に拙なりとの口を斷たしめざるべからざるなり

韓國風俗繪圖解

韓國ノ風俗習慣ハ既ニ之ヲ述ベタリ今其一斑ヲ示スガ爲メ左ニ十頁ノ韓國風俗ニ關スル繪圖ヲ挿入セリ是レ余ガ曾テ朝鮮旅行ノ際韓人某ニ託シテ書カシメシモノナリ該繪圖ニ就キ短簡ノ説明ヲ附スベシ

第一頁是レ皆男子ノ衣服ニシテ男襦トアルハ男子ノ下衣ニシテ男袴ヲ其上ニ著ケ朝衣或ハ黒團領ヲ尙ホ其上ニ纏フ

第二頁襪衣ハ男子用ノ綿入ニシテ其他ハ婦人ノ衣服ナリ婦人ハ女內衣ヲ著ケ其上ニ女襦ヲ被リ女袴又ハ裳ヲ著ク然レドモ女襦ハ甚ダ短クシテ乳房ヲ被フニ至ラズシテ女襦ト裳トノ間五六寸ヲ餘ス故ニ女腰帶ヲ以テ其間ヲ約ス、毛襪子ハ短胴服ナリ

第三頁上部ハ朝鮮帽子ノ種々ヲ示セルモノナリ其内金冠名月子ハ高貴ノ冠ニシテ儒巾程子冠ハ儒者ノ冠ナリ普通人ハ綠廣ノ黒帽馬毛製ナリ上段左ヨリ二及第二段左ヨリ三ヲ戴ク方笠ハ喪冠ニシテ毛笠ハ巡丁兵丁(舊來ノ)等ノ被ルモノナリ席子枕ハ貴人ノ用ナリ

第四頁男女ノ風俗ナリ、上段中央ハ普通人ノ戴冠・服裝、其ノ右方ハ朝鮮固有ノ長煙管ヲ吹クモノ、中段中央ハ額掩ヲ纏ヒ戴冠セザルモノ、下段左方ハ總角ナリ、其他ハ一般女子ノ服裝及結髮ノ風ナリ

第五頁上段ノ左方ハ貴婦人ノ外出ニ長裙ヲ被レルモノ、其右ハ婦人ノ水ヲ汲ミ運ブモノ、其右ハ朝鮮固有ノ支機我ガ瘦馬ノ類ヲ負フテ荷物ヲ運ブ者、中段右方ハ錫ニテ畑ヲ耕スモノ、下段ハ牛耕ナリ

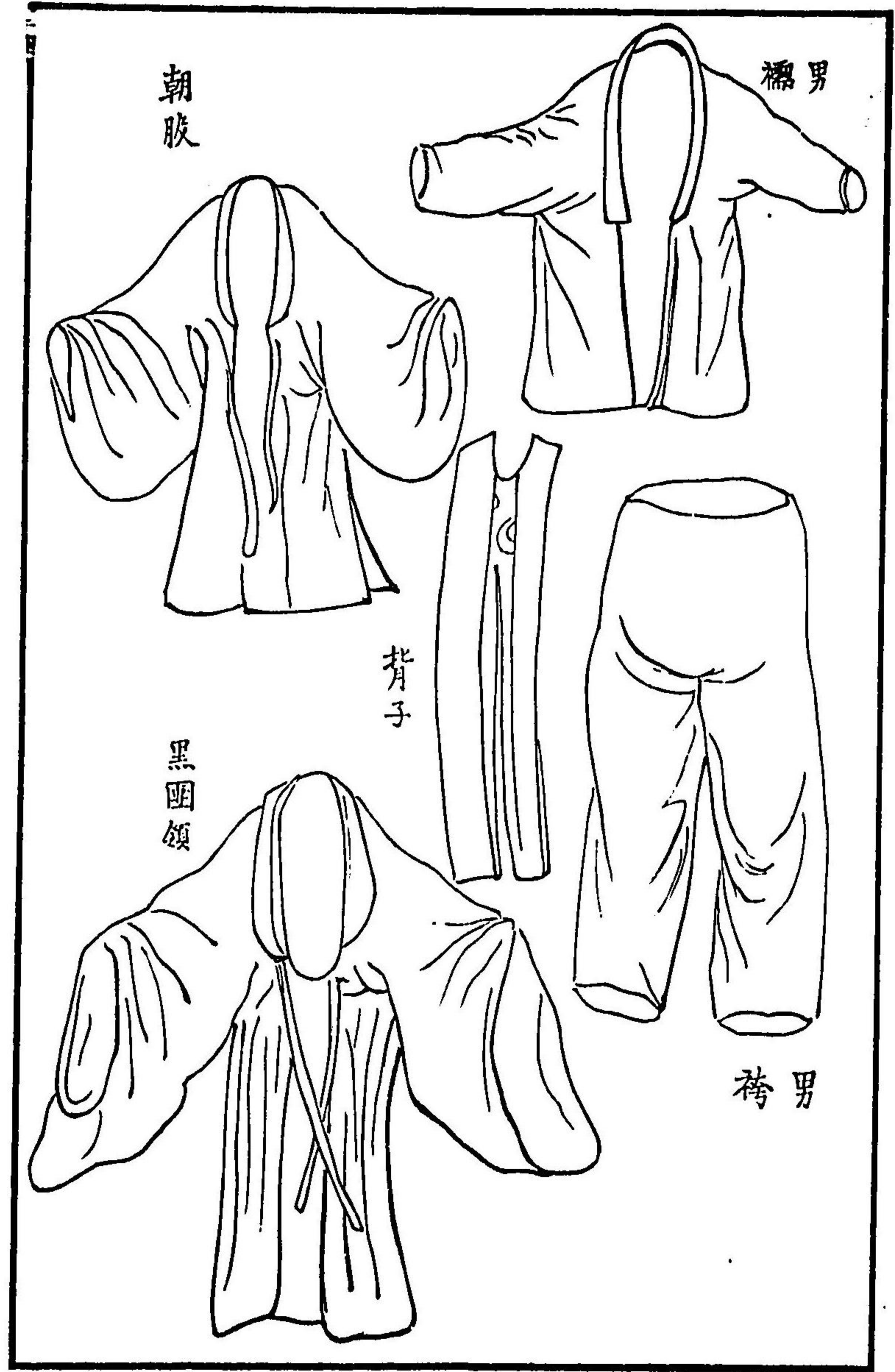
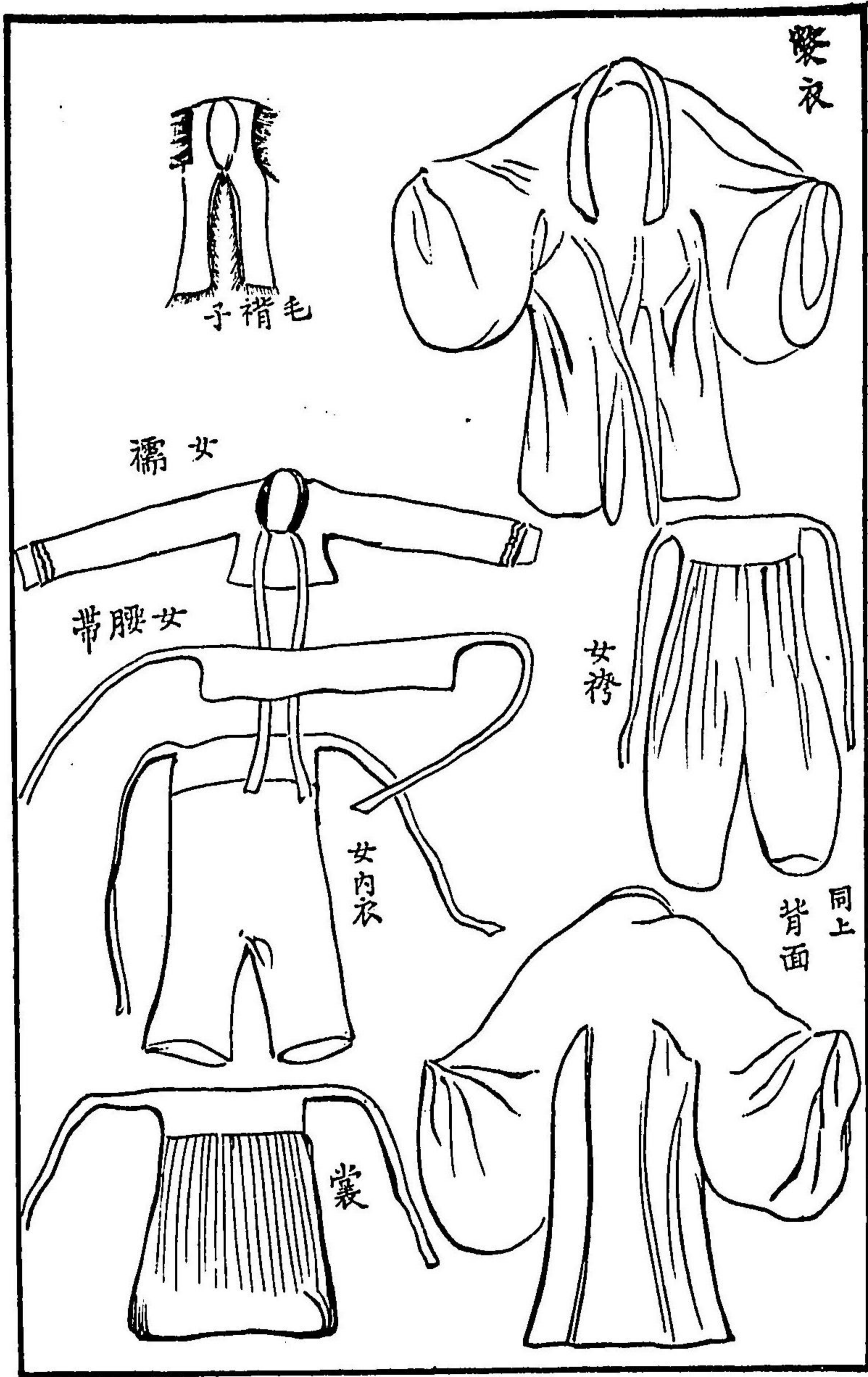
第六頁韓屋一斑ニシテ婦人ノ炊ギツ、アル室ヲ釜屋ト云ヒ、男子ノ窓ニ倚レルヲ居房トス、下段ハ家屋ニ接シテ石階ヲ繞ラセルモノナリ

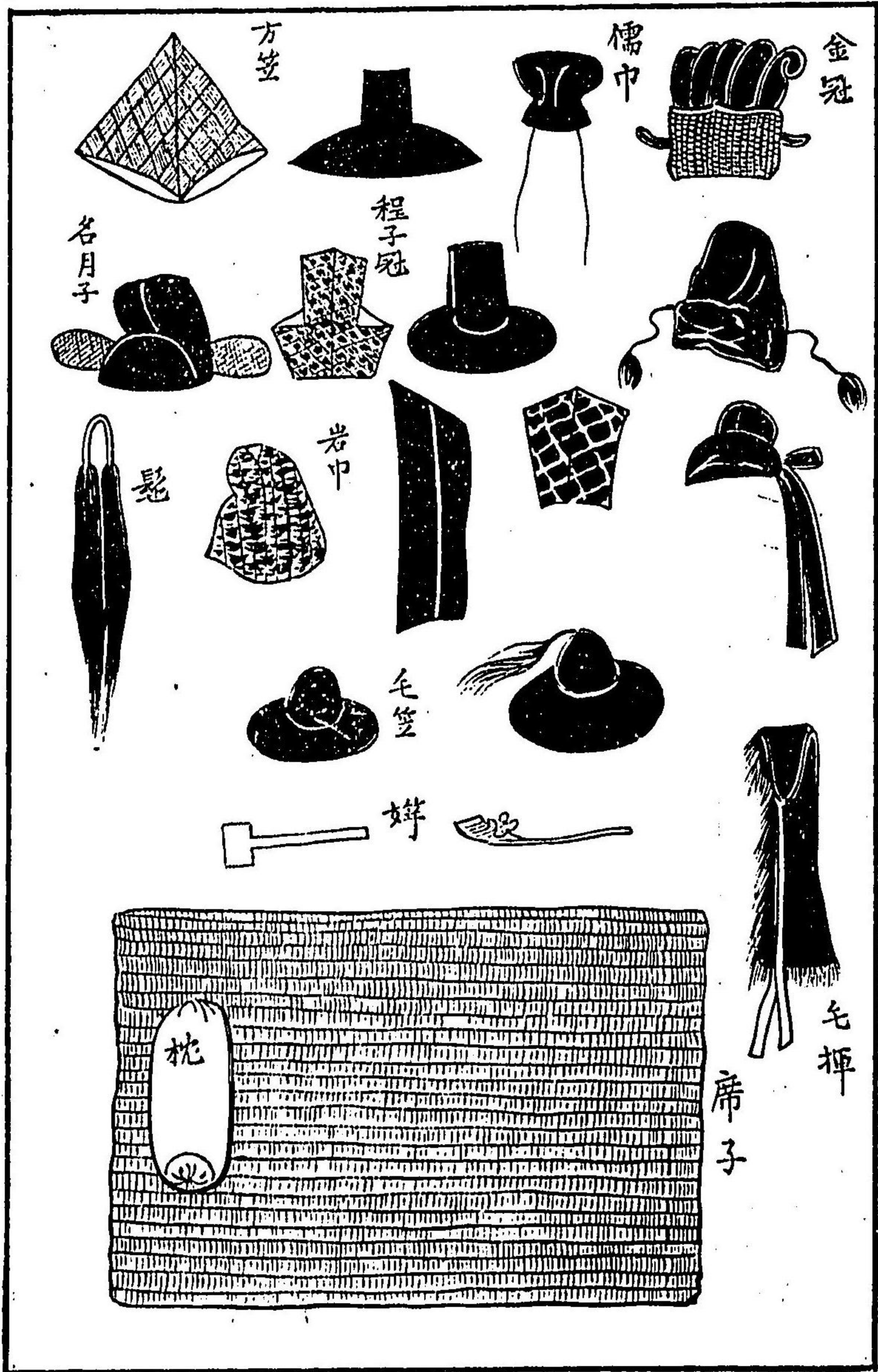
第七頁韓屋ニ備フル溫突ノ横断面ナリ、(イ)ハ入口(ロ)ハ溫突口ニシテ炊烟火氣ヲ是ヨリ床下ニ通ズ(ハ)ハ女房(ニ)ハ粘土ヲ以テ築ケル床(ホ)ハ隔壁(ト)ハ床トスル板石ニシテ溫突ノ火氣ニヨリテ熱ス(チ)ハ釜屋ナリ

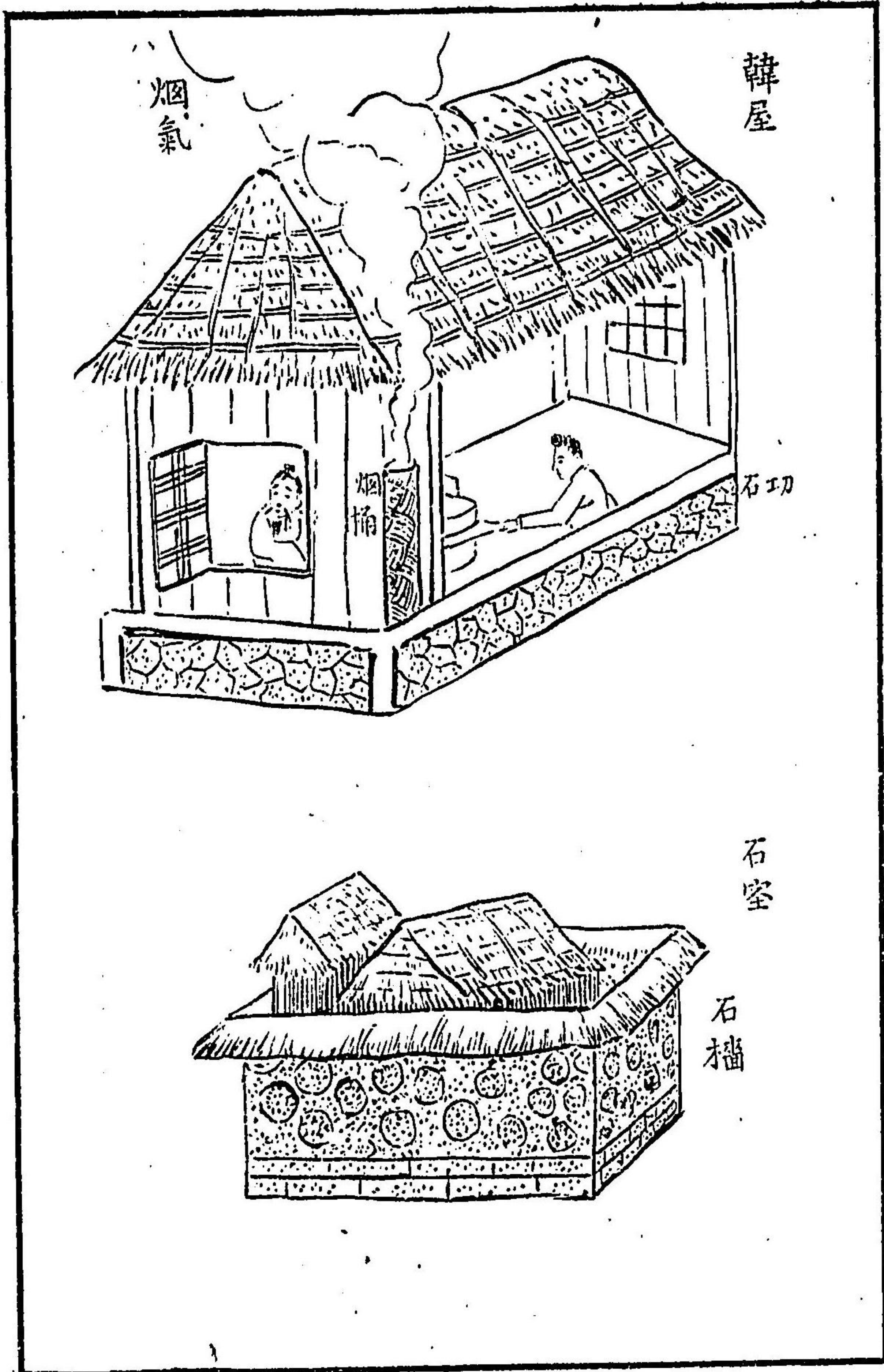
第八頁上段ハ溫突ノ縦断面(イ)(ロ)ハ床ノ支柱(石)ニシテ(ニ)(ト)ハ板石(ホ)(チ)ハ火氣ノ通孔ニシテ(ハ)ハ烟突ナリ、(ハ)スノ如キ簡單ナルモノモ有スル家抄ナシ

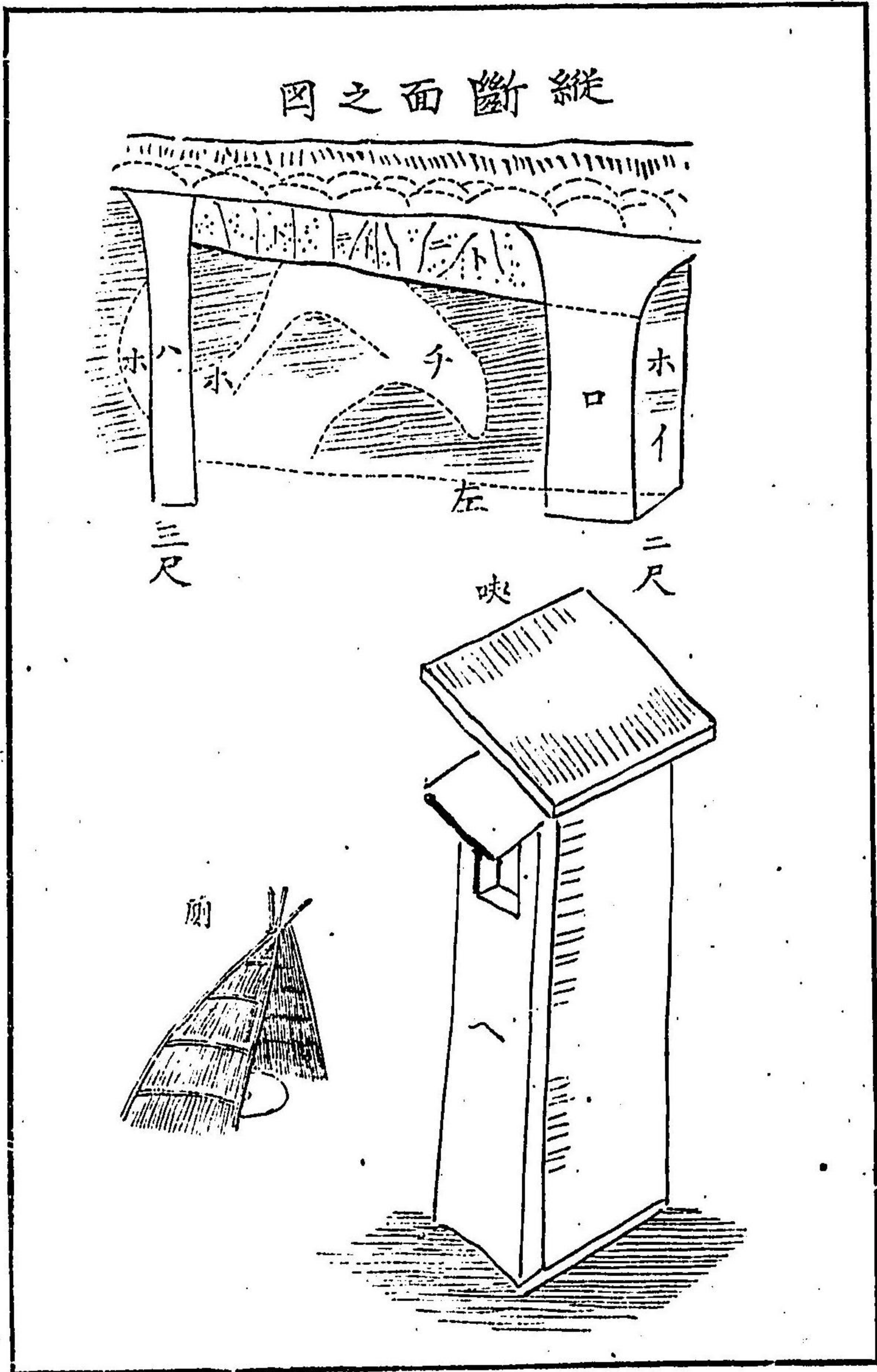
第九頁朝鮮家具、農具、木工具ノ一部ナリ
第十頁朝鮮草鞋ハ足指ヲ被護シ朝鮮ノ如キ礫石多キ惡路ニハ最モ妙ナリ、履ハ

一片ノ木材ヲ刳リテ作レルモノ、襪ハ草鞋、履、泥鞋、乾鞋等ノ下タニ男女トモ之ヲ用ユ、毛吐袖ハ袖口ニシテ草匣ハ烟草ヲ入ル襪及ヒ女佩物ニハ鏡、櫛其他ノ化粧具ヲ入レテ常ニ之ヲ携帯セリ

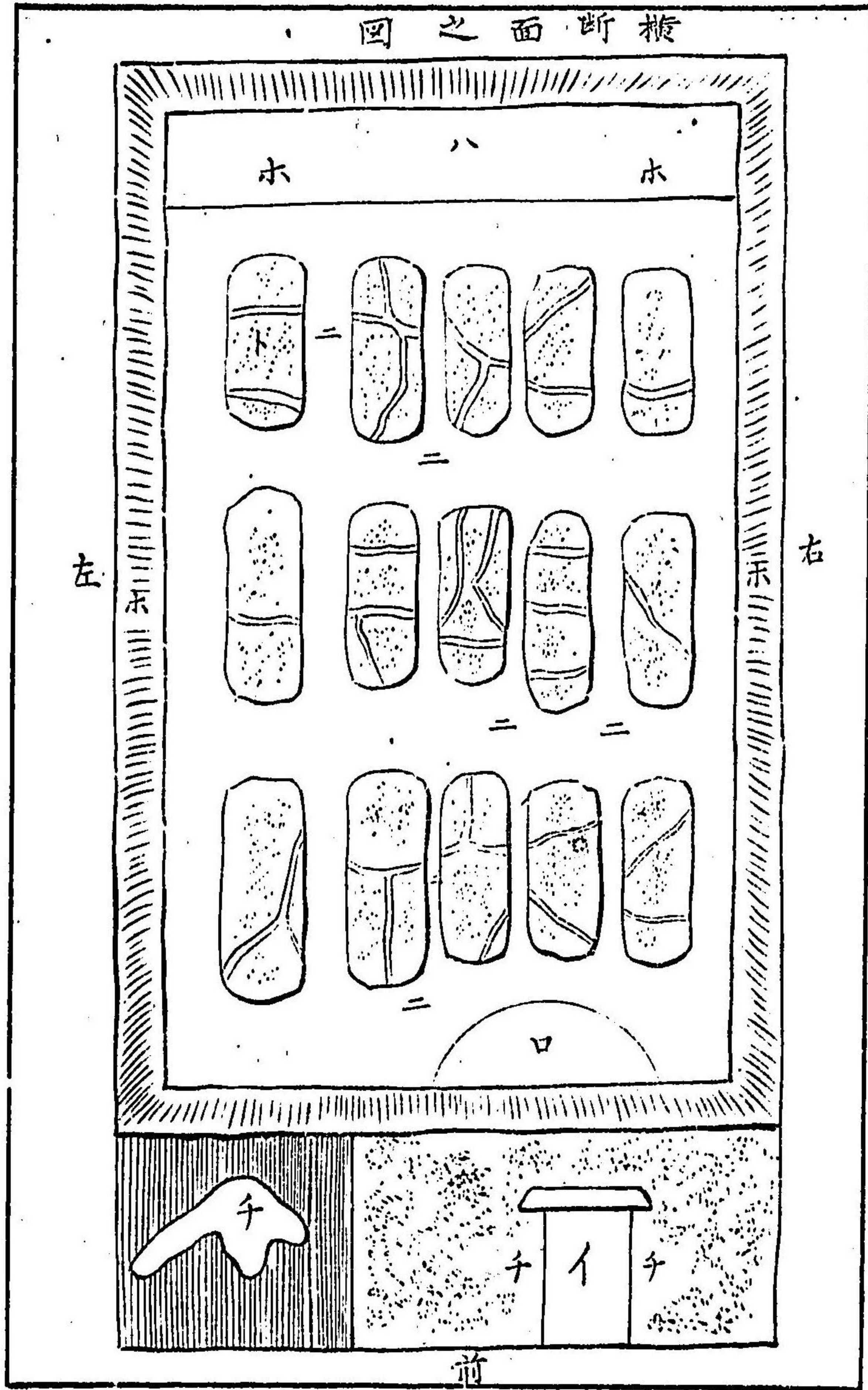


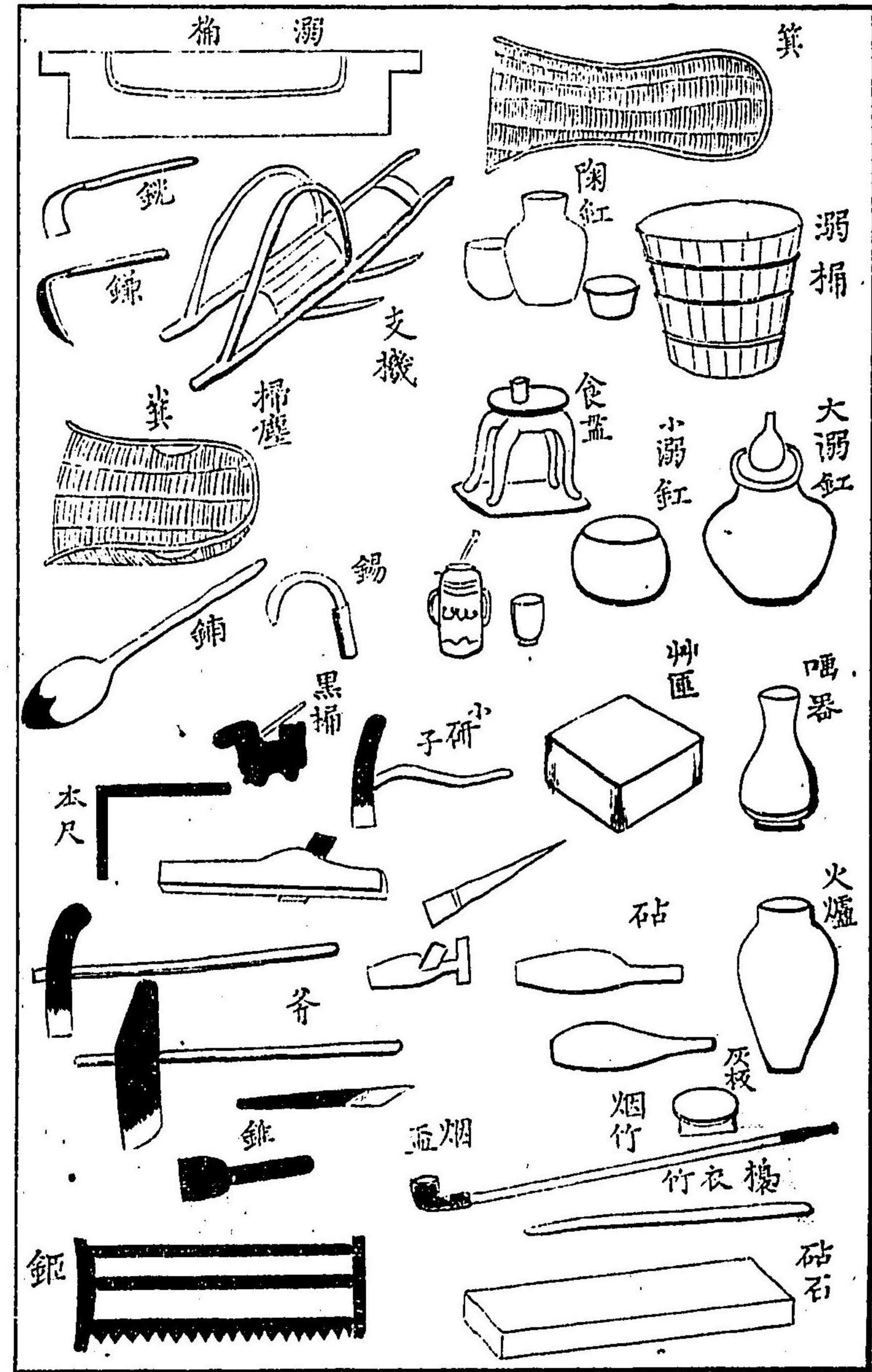
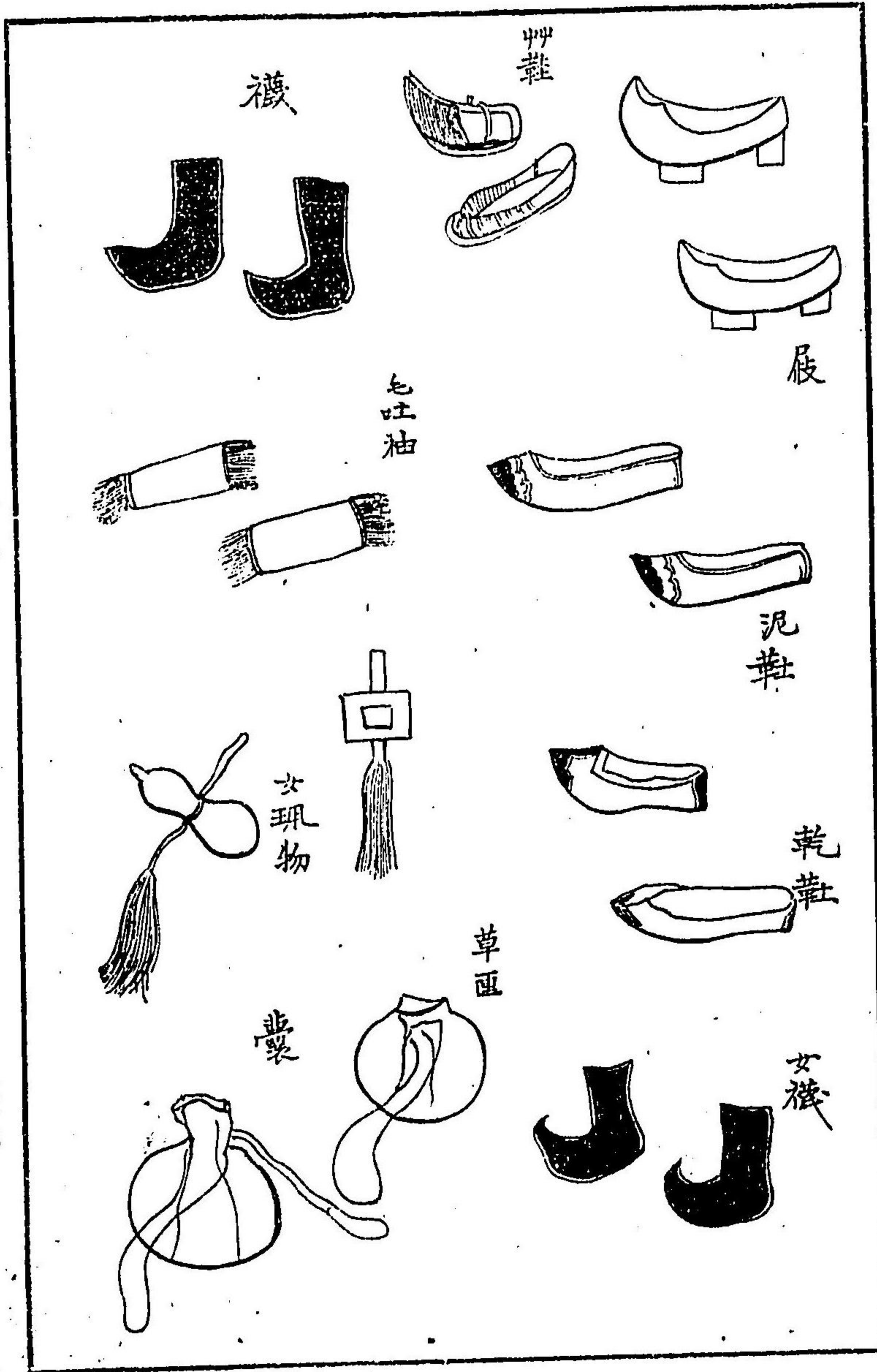






橫斷面之圖





27/2/40

韓國地理 終

明治三十七年九月十九日印刷
明治三十七年九月廿三日發行

韓國地理
正價金六十錢

著作者 矢津昌永

發行者 丸善株式會社

右代表者 小柳津要人

印刷者 野村宗十郎

印刷所 東京市京橋區築地二丁目十七番地
株式會社東京樂地活版製造所



發行所

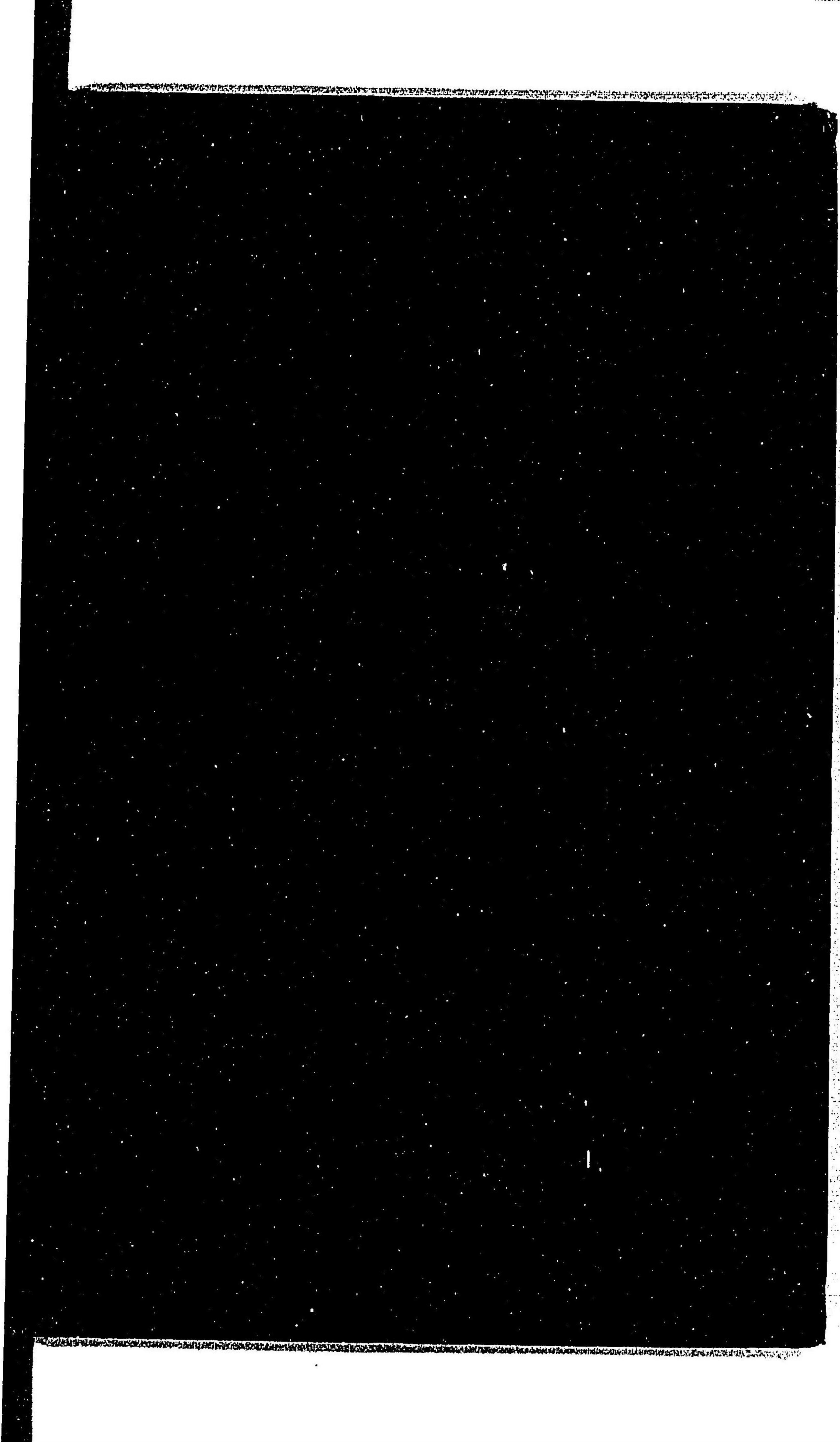
東京市日本橋區通三丁目十四番地
丸善株式會社
大阪市東區博勞町四丁目
丸善株式會社支社

丸善株式會社發行圖書賣所

島根縣	岡山縣	兵庫縣	京都府	滋賀縣	岐阜縣	三重縣	愛知縣	靜岡縣	神奈川縣	東京府
石見國濱田	備前國高梁	備前國高梁	備前國高梁	備前國高梁	備前國高梁	備前國高梁	備前國高梁	備前國高梁	備前國高梁	東京市神田區
安國川	備前國高梁	備前國高梁	備前國高梁	備前國高梁	備前國高梁	備前國高梁	備前國高梁	備前國高梁	備前國高梁	廣島市
長野縣	新潟縣	富山縣	石川縣	福井縣	大分縣	熊本縣	佐賀縣	福岡縣	愛媛縣	山口縣
水信	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
水松	西澤	西澤	西澤	西澤	西澤	西澤	西澤	西澤	西澤	西澤
北海道	青森縣	秋田縣	山形縣	宮城縣	福島縣	茨城縣	群馬縣	群馬縣	群馬縣	群馬縣
後志國小樽	石狩國札幌	渡島國函館	檜山國室蘭	釧路國釧路	青森國青森	岩手國盛岡	秋田國秋田	山形國山形	宮城國仙台	福島國福島
川小	魁今	今今	上今	東大	成日	白日	五日	佐五	右五	木五
川小	魁今	今今	上今	東大	成日	白日	五日	佐五	右五	木五

45

440



45
440

026385-000-0

45-440

韩国地理

矢津 昌永/著

M37

ADD-0037



